# 闘いなくして安全なし

2020.07.14
Ｎｏ．２６８

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://dourousien28.kane-tsugu.com/renrakuban/
dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！　定年延長と 65 歳まで働ける職場を！


# JR東 株主配当300億円

## ワンマン運転拡大反対！ 株主利益優先するな！

### 撤回求める修正動議も否決

ＪＲ東日本は６月23日に株主総会を開催しました。新型コロナ感染症拡大による減収を理由に現場労働者に大幅な一時金カットを行いながら、総額３００億円強の株主配当が強行されました。株主配当の撤回を求める修正動議が出されましたが、否決されています。

深澤社長は「固定費割合が大きい鉄道事業を中心に経営体質を抜本的に見直す」とさらなる要員削減、外注化や雇用・賃金破壊を進める考えを明らかにしました。

巨額の株主配当の裏では鉄道の現業機関をすべて「外部化」するとされています。「自動運転推進」、「ＡＩ活用」「労働の柔軟化」といい、非正規職化や人員削減などを行おうとしています。

４月からは「運転士」「車掌」の職名が廃止され、中・長編成を含むワンマン化が次々に具体化・提案されています。「戦略的ダウンサイジング」と称して、ローカル線切り捨ても加速させようとしています。現場を犠牲に、「株主利益」を何より優先しています。

日本経済新聞　6/23 付 日経新聞

**JR東「鉄道の固定費減」　総会、配当撤回動議は否決**

2020/6/23 15:35｜日本経済新聞　電子版

JR東日本は23日、都内で定時株主総会を開いた。深沢祐二社長は「ポストコロナ社会が以前と大きく異なることは確実」と語り、成長投資を促進する一方で「固定費割合が大きい鉄道事業を中心に経営体質を抜本的に見直す」と削減を進める見解を示した。総会の途中で、2020年3月期末配当の撤回を求める修正動議が出されたが、否決された。

総会には290人の株主が参加し、前年の約1600人から大きく減った。JR東は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面やインターネットでの議決権行使を株主に求めていた。

ＪＲ東の深沢社長は経営体質の抜本的な見直しに取り組むとした（23日、株主総会のモニター画面）

期末配当を1株82.5円（総額300億円強）とする剰余金処分や取締役の任期短縮などの会社提案4議案が原案通りに可決された。剰余金の処分については、ある株主が「今後の経営不安を考えれば、ここで300億円近いお金を使うのはいかがなものか」と撤回を求めて修正動議を出したが、否決された。

### 利益優先で現場を犠牲にするな！

コロナ感染症拡大は、「利益がすべて」という社会のあり方がいかに間違っていたかを明らかにしました。とりわけ医療・介護をめぐる状況は深刻です。この間の国の医療費削減政策の中で、すでに病院の多くが赤字、黒字でも１～２％という状態でした。「効率」を優先して病床や人員削減などを要求する政策が、「医療崩壊」を作り出してきたのです。

鉄道会社の役割は株主利益を上げることではありません。公共交通機関として地域の生活に必要な列車を守り、安全に列車を運行させることこそ「最大の使命」です。

ワンマン運転は車掌削減・コスト削減のためだけの施策です。ローカル線を切り捨て、運転士の地位を今以上に低下させる攻撃です。鉄道の安全のためでも地域のためでもありません。絶対に認められません。